



第12回 未来化学創造センター セミナー

“常温燐光材料の特徴とその高性能化”

筑波大学名誉教授 徳丸克己 先生

常温燐光材料について、その燐光発光の仕組みを $fac\text{-Ir(ppy)}_3$ を題材として述べ、高性能化のための基礎となり得る考え方につきまして解説頂きます。基礎からお話頂きますので、多数の学生の皆様のご参加をお願い致します。

- 元来禁制のはずの燐光が観測されるのは
- スピンの反転するのは: スピン・軌道相互作用
- Ir 錯体の吸収はどのような状態への吸収か
- Ir 錯体の燐光発光速度定数を決める因子は
- $fac\text{-Ir(ppy)}_3$ T_1 でMLCT型移動する電子は
- 高発光性の MLCT 状態の設計には

2007/7/4(水)15時00分より
ウエスト4号館 314講義室

連絡先: 安達千波矢, 八尋正幸
adachi@cstf.kyushu-u.ac.jp
TEL: 092-802-3306